

● 高病原性鳥インフルエンザから愛玩鶏を守るためのポイント ●

高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入を防止しましょう!

〈日常の飼育管理の徹底を!〉

- ①毎日、愛玩鶏を観察し、飼育小屋やその周辺を清潔に保ちましょう。
- ②世話をした後は、手洗いやうがいをしましょう。
- ③他の養鶏場や仲間の飼育場への立入は自粛しましょう。

〈野鳥等と接触させない!〉

- ①小屋に金網や防鳥ネット(2cm角以下)を張り、隙間を塞ぐ。
- ②餌や水は小屋の中に置き、餌が小屋の周辺に散乱しないようにする(写真3)。
- ③衛生的な水道水や井戸水を与える。
- ④小屋のそばに野鳥や野生動物が好む実のなる樹木を植えることを避ける。

〈ウイルスを持ち込まない!〉

- ①世話をするときには、専用の履物、衣服を身につける。
- ②飼育場所の出入口に、踏込消毒槽やアルコールスプレーなどを設置し、出入の時に履物、衣服、手を消毒する(写真4)。



写真3 板を使った餌の散乱防止



写真4 人を介したウイルス侵入対策

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合は

- ①愛玩鶏の導入や仲間との交流(品評会を含む)はやめましょう。
- ②国内で発生があっても、直ちに家庭等で飼育している愛玩鶏に感染するものではありませんので、愛玩鶏を野山に放したり、処分することなく、冷静に対応しましょう。